

**授業概要**

～韓国語と韓国文化を楽しむ～

言語と文化は密接に関係しており、言語にはその国の生活文化が反映されている。外国語を学ぶというのは、まさに他者の文化を理解する第一歩で、多文化・多言語社会である現代において、その重要性は益々高まっている。韓国語に「시작이 반이다 (始まりが半分だ)」ということわざがあるが、「何か物事を始めさえすれば、半分は成就したも同じだ」という意味である。このことわざのように、韓国語Ⅲでは日韓社会の様々な問題を考える第一歩としてハングルと韓国文化を学ぶことで、日韓の相互理解がさらに深まることを目的とする。毎回の授業では、「多分野の文化説明文を読んで、その内容を理解し、自国文化と比較しながら自分の意見をまとめて言う」言語活動を行う。様々な言語文化活動を通じて韓国文化の多様な姿を体験できると考える。

**授業計画**

第1回	授業の進め方、評価法の概略、初級の復習、インターネットの検索及びハングル入力方法	
第2回	言語と文化―「韓国語と日本語の相違」	
第3回	あらゆる場面でのあいさつ	*リスニング・文化体験① (30分)
第4回	地形と気候―「天気・季節に関する表現」	*リスニング・文化体験② (30分)
第5回	韓国人の氏名	*リスニング・文化体験③ (30分)
第6回	伝統音楽・現代「K-POP」の歴史	*リスニング・文化体験④ (30分)
第7回	学校生活―「韓国の大学生と入試競争」	*リスニング・文化体験⑤ (30分)
第8回	最新ニュース―「韓国の今を知る」	*リスニング・文化体験⑥ (30分)
第9回	韓国の夜食―「配達文化」・冠婚葬祭	*リスニング・文化体験⑦ (30分)
第10回	韓国文学―「詩・エッセイを書いてみる」	*リスニング・文化体験⑧ (30分)
第11回	政治と経済	*リスニング・文化体験⑨ (30分)
第12回	世界文化遺産「記録文化」	*リスニング・文化体験⑩ (30分)
第13回	韓国的感情表現―「情」	
第14回	歴史・映画①『王になった男』「前半―朝鮮王朝時代について」	
第15回	歴史・映画②『王になった男』「後半―光海君からみるリーダーシップとは?」・まとめ	
第16回	試験	

**到達目標**

1. 韓国語の長文を読んで理解し、韓国語で自分の意見が言える。
2. 映画やドラマ、音楽などの韓国語が大いに理解できる。
3. 言葉の背景にある韓国文化についての知識や理解を一層深める。
4. 韓国社会を通して自国の文化をも知る。

**履修上の注意**

1. 外国語の授業なので、グループで行う活動など授業への積極的な参加が求められる。
2. ハングル文字をある程度読めることが望ましいが、韓国語や文化に興味があれば履修できる。
3. 履修した場合は、韓国語能力試験2～4級が受けられるレベルになる。

**予習復習**

1. 事前学習は、プリント教材の新しい単語を調べて、提示されるページを音読してこよう。
2. 事後学習は、提示される課題や復習をすること。

**評価方法**

平常点（50点―授業の参加度・小テスト・課題・会話演習・発表1回）、試験（50点）を予定している。

**テキスト**

テキストは使用せず、ビデオ教材など、学生のレベルに合わせたプリント教材（韓国語で書かれた多様な分野のプリント教材）を配布する。